

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

本大会は、2012年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練 習

トラックの外側を使用すること。但し、投てき・跳躍は係員の指示により実施する。なお、状況に応じてバックストレートを開放する。

3. 招 集

招集はチェック方式とする。

招集は招集所において本人が行うものとする。招集所は100mスタート後方に設ける。

招集に遅れた場合は棄権とみなす。

トラック・フィールド内入場は全て係員の指示にしたがって規律ある行動をとる。

招集時刻は下記の通りとする。

種 目	招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	40分前	20分前
フィールド競技	60分前	40分前

4. ナンバーカード

ナンバーカードは白地の布(半紙1/2大で作し、黒字で登録番号を明瞭に記入したもの)を胸背部にしっかりとつけること。但し、跳躍競技の競技者はどちらか片側でもよい。

腰ナンバーカードを招集所で受け取り、競技終了直後、フィニッシュ地点で返却する。腰ナンバーカードは、右腰やや後方につけること。

5. 走路の決定及び競技順序

トラック競技予選の走路及びフィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

6. リレー

オーダー用紙は競技開始80分前までに招集所競技者係に提出すること。**それをもって招集完了とする。**

7. 跳躍競技のバーの上げ方

審判長及び跳躍主任の判断により、係員が指示する。

8. 検 査

用器具の検査は、両日とも8:45~9:15に行う。検査の対象は棒高跳のポール、および投てき物とする。

9. トラック競技

トラック競技の決勝の番組編成は、本部で抽選し掲示する。

400mまでの種目およびリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時1/1000)まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。

10. 入賞および得点

【湘南地区】

入賞は6位までとする。

得点は各種目1位6点、2位5点、...6位1点とする。

合計得点により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

【横三地区】

入賞は8位までとする。

得点は各種目1位8点、2位7点、...8位1点とする。

合計得点により、男女別1部、2部、総合の学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

1 1 . 表 彰

【湘南地区】

各種目 3 位まで賞状を授与する。

学校別表彰は、男女とも 3 位まで賞状を授与する。

【横三地区】

1 部、2 部、共通各種目 3 位まで賞状を授与する。

学校別表彰は、1 部、2 部男女とも 3 位まで、総合は男女とも 6 位まで賞状を授与する。

1 2 . その他

各参加校は両日とも本部の準備が整い次第、本部にて受付を行うこと。同時に生徒役員の受け付けも済ませること。生徒役員は各校 2 名とする。また、本大会のプログラムを各校 2 部無料で配布する。それ以上必要な学校は購入すること。

プログラムの訂正は、両日とも 9 : 0 0 までに本部に申し出ること。

待機場所としてのテント設置可能区域は、スタンド後方およびスタンドのみとする。ただし、写真判定室周辺および本部ダッグアウトから 4 ブロックはテントの設置を禁止する。

服装（ユニフォーム・パンツ）は見苦しくないように注意すること。

更衣室は清潔にすること。

使用した観覧席はきれいにし、ごみは全て持ち帰ること。

本競技場は全天候舗装である。よってスパイクのピンはトラック 9 mm、走高跳およびやり投は 1 2 mm 以内とする。

貴重品は各自で保管し、更衣室には置かないこと。

各校生徒役員は、両日とも 9 : 0 0 までに本部にて受付をすること。

第 2 日目は、競技終了後に閉会式を行う。

1 3 . 競技中の事故などの応急処置は主催者側が行うが、その後の責任は一切負いません。

競技会における事故防止について

競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。

競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。

競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。

トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。

周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。